

情報基盤部門

情報基盤部門について

情報基盤部門長 野崎 剛一

「情報メディア基盤センター」は、平成 16 年 12 月 1 日に、本学の教育・研究・事務等の高度情報化への課題に対応するために、これまで本学の情報基盤の維持・管理と教育・研究等の情報化関連業務を担っていた総合情報処理センターを廃止して設置されました。本センターには、情報基盤部門、データベース部門及び情報メディア部門の 3 部門が設置され、現在、センター長(併任)、4 名の専任教員(教授 1 名、准教授 1 名、助教 2 名)及び 5 名の兼務教員が配置されています。本年 7 月 1 日からは、センターの事務組織が事務局の学術情報部情報企画課に統合され、センター建物内の事務室には、情報基盤班主査 1 名、技術職員 2 名及び 3 名の非常勤職員が配置されています。

センターの教員組織の情報基盤部門に所属する教員の担っている具体的な業務は、本学の教育、研究、事務のあらゆる活動に不可欠な情報基盤システムの管理・運用の技術支援で、この日常業務については、センター事務室の技術職員や非常勤職員との密接な連携が必要です。

- ・ 情報ネットワークの利用技術に関する研究・開発と技術支援
- ・ キャンパス情報ネットワークシステムの管理・運用法に関する業務と研究開発
- ・ 計算機システムの利用に関する研究・開発と技術支援
- ・ 情報セキュリティシステムなどの情報保護に関する業務

現在の本学のキャンパス情報ネットワーク（以下、NUNet という）は、本学の主要三キャンパス（文教、坂本、片淵）及び三キャンパス外の附属施設等のすべての建物を専用の通信回線で接続した情報通信基盤で、教育、研究、事務のあらゆる活動に利用されています。NUNet は、基幹 LAN と部局 LAN で構成され、基幹 LAN は情報メディア基盤センターが管理し、各部局 LAN は当該部局が管理しています。この NUNet は、今年で導入から 8 年目を迎え、機器の老朽化やこの数年間のたび重なる学内施設の増設や改修により、支線 LAN の構成が変更され複雑化してきているために、サブネット管理者による利用者や機器の接続状況の把握が困難になっています。部局 LAN において、ボランティアにて管理されていたり、積極的な管理が行われていないところもあつたり、部局間で情報セキュリティレベルの不均質も生じています。そのために、次期キャンパス情報ネットワークの仕様策定を効率的かつ適正に進め、今後の NUNet 全体の維持・管理・運用に資するために、全学レベルで現行のネットワーク（支線の部分：大学全体で使用されているネットワークケーブルの約 6 割に当たる約 3,000 本）について、配線



Information Media Center Annual Report 2008

状況や回線の通信品質などの調査を平成 19 年度に行い、約 3,400 ページの報告書が作成されました。そして、現在、情報基盤部門では、これらの諸問題を解決し、なおかつネットワークを利用した、新たな教育研究活動や業務に柔軟に対応できるように、次世代情報基盤ネットワークの構築のための企画、検討を進めています。全学の情報基盤について一元的な管理・運用・監視の効率化、トータルコストの削減を図り、IT ガバナンス体制を充実させるとともに、全ての構成員（学生、教職員）に安全かつ安心して快適に利用できるような本学の情報基盤環境を整備するよう努力して参りますので、ご協力の程よろしくお願い致します。